

安全データシート

作成: 2020年 9月17日

改訂: 2022年 9月 6日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF129-02
製品名 : コラトップジャンボP
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(肺)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害
- ・強い眼刺激
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肺)の障害
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
- ・水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

化学名: 1, 2, 5, 6-テトラヒドロピロロ[3, 2, 1-ij]キノリン-4-オン / 一般名:ピロキロン

成分及び含有量:ピロキロン	24.0%
<その他> 鉱油	<=40.0%
結晶質シリカ	<=20.0%
酸化アルミニウム	<10.0%

酸化鉄	<10.0%
酸化カルシウム	<10.0%
鉍物質微粉 等	

化学式: C₁₁H₁₁NO

官報公示整理番号: 化審法 1-548	結晶質シリカ
1-357、5-5188	酸化鉄
1-189	酸化カルシウム
官報公示整理番号: 安衛法 8-(1)-1760	ピロキロン
1-(3)-477	酸化アルミニウム
	鉍油

CAS No.:	57369-32-1 /	ピロキロン
	14808-60-7 /	結晶質シリカ
	1344-28-1 /	酸化アルミニウム
	1309-37-1 /	酸化鉄
	1305-78-8 /	酸化カルシウム

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流す。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、速やかに医師の手当を受ける。

眼に入った場合: 直ちに清浄な水で洗浄する。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。刺激が続く場合は、速やかに眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合: 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当を受ける。無理に吐き出させない。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。毛布等で保温して安静に保つ。

応急措置をする者の保護: 救助者は有害物質に触れないよう、手袋やゴーグル、マスク等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 泡、粉末、二酸化炭素、水、砂

使ってはならない消火剤: 特になし。

特有の危険有害性: 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法: 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。危険なくできる時は
燃焼の供給源を速やかに止める。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。周囲の設備
などに散水して冷却する。消火活動は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護: 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 漏出した場所の周辺にロープを張る等して関係
者以外の立ち入りを禁止する。作業の際は、必ず適切な保護具を着用し、漏出物との接触及び
粉塵の吸入を避ける。

環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に
回収する。

二次災害の防止策: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。危険なくできるときは、漏出源を
遮断し、漏れを止める。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 換気のよい場所で取り扱う。屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に
記載の局所排気、全体換気を行う。吸入や皮膚への接触を防ぎ、眼に入らないように適切な保護
具を着用する。必要なとき以外は、環境への放出を避ける。

安全取扱注意事項: 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしな
い。濡れた手で触らない。みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。

接触回避: 「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策: 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。手袋等
の汚染された保護具を持ち込まない。指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

保管

安全な保管条件: 容器を密閉し、換気の良い涼しい場所に施錠して保管する。

安全な容器包装材料: クラフト加工紙袋、張り合わせアルミ箔袋等。

8. ばく露防止措置

管理濃度: 鉱物性粉じん 0.13 mg/m³

許容濃度: 第1種粉じん 吸入性粉じん 0.5 mg/m³、総粉じん 2 mg/m³ 日本産業衛生学会
吸入性結晶質シリカ(吸入性粉じん) 0.03 mg/m³(OEL-C) 日本産業衛生学会
吸入性結晶質シリカ(呼吸性画分) 0.025 mg/m³(TWA) ACGIH

設備対策: 屋内で取り扱う場合には、全体換気装置を設置する。密閉された装置、機器又は局所排
気装置等を使用しなければ取り扱ってはならない。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のた

めの設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具: 農薬用マスク

手の保護具: 保護手袋

眼の保護具: ゴーグル、保護眼鏡、保護面

皮膚及び身体の保護具: 保護帽子、保護服、保護靴等

9. 物理・化学的性質

外観等	: 褐色細粒 水溶性パック入り
臭い	: 無臭
pH	: 7.5 (20% 水懸濁液)
可燃性	: 可燃性固体の区分には該当しない。
引火点	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
見掛け比重	: 0.34 - 0.44
粒子特性	: 粒径範囲 300~1700 μ m
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: ピロキロン: logPow=1.6 (25°C)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
自然発火点	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: データなし。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、有害ガス(窒素酸化物)を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	:ラット(♀) LD ₅₀ 1042 mg/kg [区分4]
急性毒性(吸入:粉じん)	:データなし。[分類できない]
急性毒性(経皮)	:ラット LD ₅₀ >2,000 mg/kg [区分に該当しない]
皮膚腐食性/刺激性	:ウサギ:刺激性なし。[区分に該当しない]
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:ウサギ:軽度刺激性 [区分2A] 角膜混濁、結膜発赤、浮腫は9日後までに消失。
呼吸器感作性/皮膚感作性	
呼吸器感作性	:データなし。[分類できない]
皮膚感作性	:モルモット 陰性 [区分に該当しない]
生殖細胞変異原性	:データなし。[分類できない]
発がん性	:データなし。[分類できない]
生殖毒性	:データなし。[分類できない]
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:データなし。[分類できない]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:区分1(肺)の鉱物性質を約40%含む [区分1(肺)]
誤えん有害性	:データなし。[分類できない]

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	:区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	:区分1
魚類	:コイ LC ₅₀ 180 mg/l (96hr)
甲殻類	:オオミジンコ EC ₅₀ 0.16 mg/l (48hr)
藻類	:緑藻 ErC ₅₀ 500 mg/l (72hr)
残留性・分解性	:データなし
生体蓄積性	:データなし
土壌中の移動性	:データなし
オゾン層への有害性	:データなし
その他	:水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 : 3077(環境有害物質、固体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第23172号

消防法 : 非危険物

労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物質): 鉱油(政令番号168)

第18条の2(通知対象物質): 結晶質シリカ(政令番号165-2)

第18条の2(通知対象物質): 酸化アルミニウム(政令番号189)

第18条の2(通知対象物質): 酸化鉄(政令番号192)

第18条の2(通知対象物質): 酸化カルシウム(政令番号190)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: 非該当

毒物劇物取締法 : 非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。